

オルビス、新しい物流拠点を西日本に開設 ～配送サービスの一層の強化と効率化を実現～

ポーラ・オルビスグループのオルビス株式会社(本社:東京都品川区、社長:町田恒雄)は、配送サービスの強化と効率化のために西日本では自社初の物流拠点となる『オルビス西日本流通センター』を兵庫県西宮市に開設し、2月21日(火)より稼働します。

通販業界で顧客満足度No1ブランド(※1)の評価を獲得したオルビスが、フルフィルメントシステムをさらに強化し、より利便性の高い配送サービスをお客さまに提供するために、ITデジタル技術を駆使した最先端のシステムと業界初の仕組みを兼ね備えたユニークな流通センターを開設し、合わせて効率性も高めます。

このたび開設するオルビス西日本流通センターは、最先端のITデジタル技術とこれまでに構築したノウハウをベースとした新たな集荷・梱包・検品システムを構築します。これにともない、現在関東に3拠点ある流通センターは年内に埼玉県にある騎西流通センター1つに集約することで東西2拠点体制となり、効率化と震災などによるリスク分散を図ります。

通販業界は10年で約2倍の規模に成長しており、さらに東日本大震災をきっかけに近場または家の中で買い物を済ませる消費行動が高まる中、WEB通販が注目をあびています。また、化粧品市場においても大手・海外メーカーによるWEB通販参入が相次ぐなど、消費者の同チャネルへの期待値はますます高まる傾向にあります。

オルビスは西日本流通センターの開設により、競争が激化するWEBを中心とした通販チャネルにおける配送サービス面での優位性をさらに高めます。

【オルビス西日本流通センター開設による効果】

■ 顧客サービスの向上

- * 全国一律翌日お届け(従来は九州・沖縄・北海道は最短で2日後お届け) ※今秋予定
- * 関東・関西主要都市 即日配送(朝7時までにご注文⇒当日18時以降お届け) ※今秋予定、WEB限定
- * 商品のトレーサビリティ(生産履歴)情報の追跡が可能に

■ 物流コストダウン

- * 拠点集約による固定費ダウン
- * 西日本地域での商品配送費ダウン
- * デジタル化による帳票出力費ダウン (*年間約50t分の紙使用量削減による環境負荷低減)

■ 業容拡大への対応

- * 主にデジタルピッキングとカートピッキングのハイブリッドライン導入による1拠点当りの出荷能力拡大(従来比約1.5倍)

■ 庫内作業効率化

- * オルビス専用WMS(※2)導入による商品・ロケーション・作業管理の品質・効率向上

■ 大災害時のリスク分散

- * 東西2拠点体制により、大災害時のリスクを低減

※1:オルビスは2011年度JCSI(日本版顧客満足指数)調査において通信販売業界全体で1位を獲得しました。

※2:物流倉庫管理システムのことで、流通センターにおける一連の業務を効率化するための総合管理システム。

WMS=Warehouse Management System の略。

【オルビス西日本流通センター概要】

所在地 : 兵庫県西宮市山口町阪神流通センター2丁目2
(株式会社流通サービス・西宮北物流センター内)

延床面積 : 1,900坪

構造・規模 : 耐火建築物 地上6階建て(倉庫部3層)

交通 : 中国自動車道 西宮北ICより約1Km

〈ご参考〉 関東3流通センター概要

① オルビス騎西流通センター

所在地 : 埼玉県加須市鴻荃3200-2 (株式会社流通サービス・騎西物流センター内)

延床面積 : 2,330坪

開設年 : 2004年

② オルビス羽生流通センター

所在地 : 埼玉県羽生市東3-6-1 (株式会社流通サービス・羽生営業所)

延床面積 : 1,845坪

開設年 : 1993年

※2012年10月に閉鎖予定

③ オルビス千葉流通センター

所在地 : 千葉県八街市八街ほ721-1 (株式会社流通サービス・八街営業所)

延床面積 : 1,354坪

開設年 : 2002年

※2012年4月に閉鎖予定